ALSOKグループ決算説明資料
（2027年3月期中間期）

2026年11月10日

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・それでは、ALSOKグループの2027年3月期中間期決算についてご説明いたします。

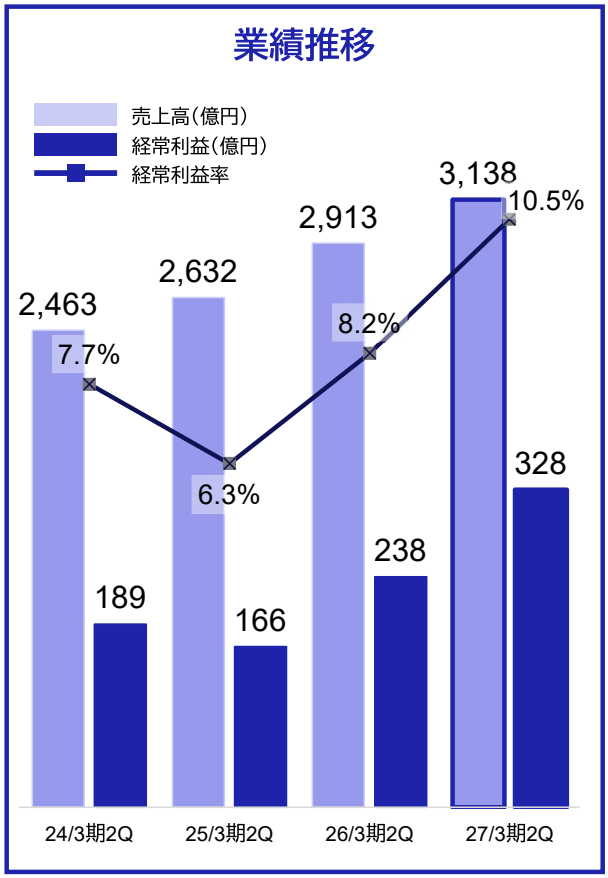
中間期決算のポイント

2027年3月期　中間期業績予想を達成
・前年同期比で増収増益
・売上高、各利益は過去最高を更新

2027年3月期　通期業績予想を上方修正
・順調な業績と日本ドライケミカルの連結化を反映
・中間配当を増配、期末配当も増配予定

ALSOKグループの取組み
・アジア大会・アジアパラ大会の安全・安心に貢献
・日本ドライケミカルのTOB成立、
　中長期的な企業価値向上に向けた施策を推進

※日本ドライケミカルの業績影響は、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想に反映しております。今後の状況変化等により、業績予想への影響を見直す可能性があります。



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・まずはじめに、ご説明のポイントです。

・第1に、2027年3月期中間期決算についてです。
当期は、セキュリティ事業およびFM事業等が業績をけん引し、
売上高および各利益はいずれも過去最高を更新するとともに、利益率も改善しました。
また、中間期業績予想を達成するなど、順調な業績となりました。

・第2に、2027年3月期の業績予想についてです。
足元の業績動向等を踏まえ、通期業績予想を上方修正いたしました。
また、中間配当を増配するとともに、期末配当も増配を予定しております。

・第3に、ALSOKグループの取り組みについてです。
当社グループは、アジア競技大会・アジアパラ競技大会における安全・安心の確保に貢献するなど、
社会インフラを支える担い手としての責任を果たしてまいりました。

また、日本ドライケミカルに対するTOBが成立し、現在は中長期的な企業価値向上に向け、
ALSOK、日本ドライケミカル、カーライルの3社が連携して各種施策の検討・実行を進めております。

・各項目の詳細については、後ほどご説明します。

2027年3月期中間期実績

・それでは、2027年3月期中間期実績についてご説明いたします。

2027年3月期中間期実績

2027年3月期中間期実績

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率	27/3期 中間期 業績予想	業績予想比	達成率
売上高	2,913	3,138	224	7.7%	3,087	51	101.7%
売上総利益	698	802	104	14.9%	―	―	―
営業利益	225	304	79	35.2%	248	56	122.8%
経常利益	238	328	89	37.6%	263	65	125.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	146	202	56	38.4%	164	38	123.3%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・3ページは、2027年3月期の中間期実績についてです。

・2027年3月期 中間期決算は、前年同期比で増収増益となりました。
業績予想比においても、全ての項目を達成しております。

セグメント別売上高・営業利益

売上高

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
セキュリティ事業	2,098	2,246	147	7.0%
FM事業等	403	436	32	8.0%
介護事業	274	304	30	11.2%
海外事業	136	150	13	10.1%
合計	2,913	3,138	224	7.7%

営業利益（率）

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績		27/3期 中間期実績	
セキュリティ事業	225	10.7%	305	13.6%
FM事業等	45	11.2%	53	12.2%
介護事業	12	4.7%	5	1.7%
海外事業	▲4	―	▲3	―
合計	225	7.7%	304	9.7%

セキュリティ事業売上高（内訳）

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
機械警備事業	895	912	16	1.9%
HOME ALSOK事業	123	129	5	4.5%
常駐警備事業	719	822	103	14.4%
警備輸送事業	359	382	22	6.2%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・4ページは、セグメント別の売上高・営業利益についてです。

・前年同期比で、
セキュリティ事業は、売上高7．0%増の2，246億円、

FM事業等は、売上高8．0%増の436億円、

介護事業は、売上高11．2%増の304億円、

海外事業は、売上高10．1%増の150億円となりました。

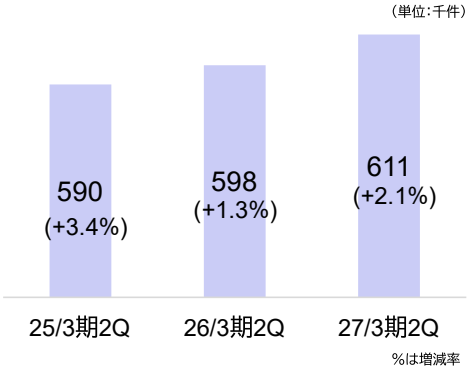
セキュリティ事業
機械警備事業、HOME ALSOK事業の概況

機械警備事業

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
売上高	895	912	16	1.9%
契約収入	705	727	22	3.1%
工事収入	32	35	2	9.0%
売却収入	158	150	▲8	▲5.1%

契約件数（長期）推移

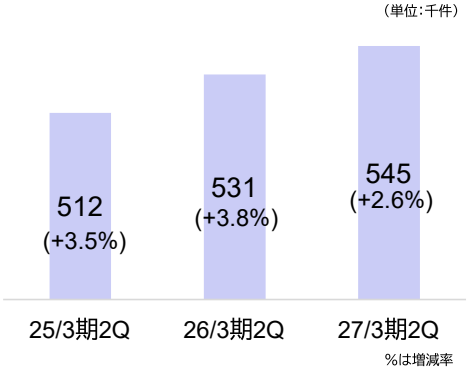


HOME ALSOK事業

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
売上高	123	129	5	4.5%
契約収入	98	103	4	4.7%
工事収入	2	2	0	12.7%
売却収入	23	23	0	3.2%

契約件数（長期）推移



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・5ページは、機械警備事業およびHOME ALSOK事業の概況についてです。

・機械警備事業の売上高は、前期比1．9%増の912億円となりました。
契約収入は3．1%増、工事収入は9．0%増となりました。
一方、売却収入は、5．1%減となりましたが、当社は、継続的なキャッシュフローを生み出す契約収入の拡大を重視しており、収益基盤の強化が進んでおります。

・HOME ALSOK事業の売上高は、前期比4．5%増の129億円となりました。
契約収入は4．7%増、工事収入は12．7%増、売却収入は3．2%増となっております。

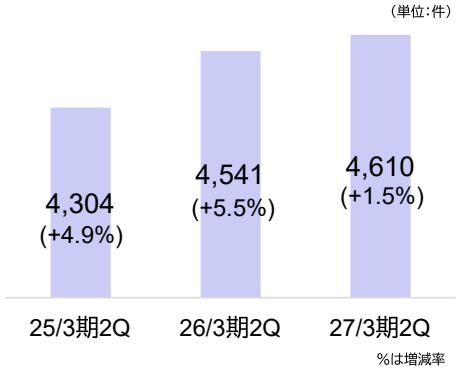
セキュリティ事業
常駐警備事業、警備輸送事業の概況

常駐警備事業

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
売上高	719	822	103	14.4%

契約件数（長期）推移



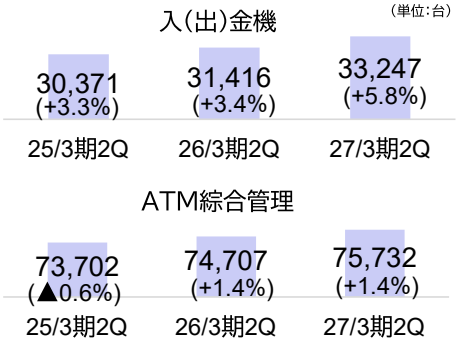
%は増減率

警備輸送事業

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
売上高	359	382	22	6.2%

入（出）金機・ATM綜合管理 台数推移



%は増減率

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・6ページは、常駐警備事業および警備輸送事業の概況についてです。

・常駐警備事業の売上高は、既存契約の価格改定に加え、愛知県を中心に開催された
アジア競技大会の警備業務等を受託したことが増収に大きく寄与し、
前期比14．4%増の822億円となりました。

・警備輸送事業の売上高は、キャッシュレス化の進展が続く中においても、
堅調なアウトソーシング需要を背景に、入出金機の台数が5．8%増となるなど、受注は堅調に推移し、
前期比6．2%増の382億円となりました。

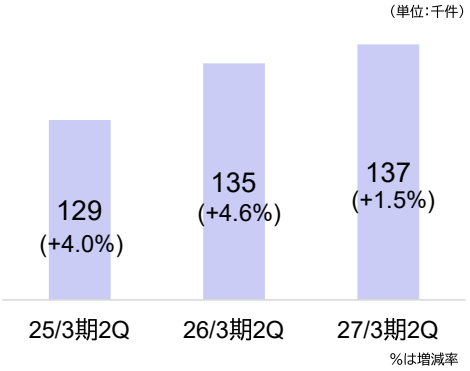
FM事業等・介護事業の概況

FM事業等

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
売上高	403	436	32	8.0%
契約収入	220	283	62	28.4%
工事	127	109	▲18	▲14.3%
売却	55	43	▲12	▲21.9%
営業利益	45	53	8	18.3%
営業利益率	11.2%	12.2%	―	―

契約件数（長期）推移

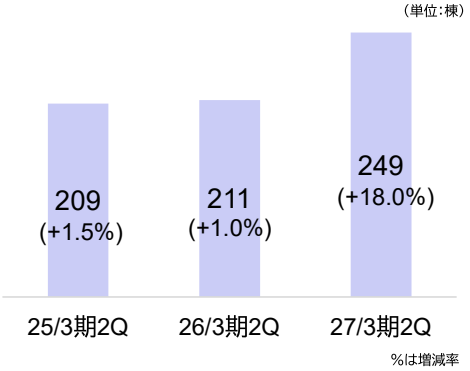


介護事業

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
売上高	274	304	30	11.2%
営業利益	12	5	▲7	▲59.7%
営業利益率	4.7%	1.7%	―	―

介護事業拠点数（施設数）推移



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・7ページは、FM事業等および介護事業の概況についてです。

・FM事業等の売上高は、M&Aの効果などにより契約収入が堅調に推移したことから、
工事収入および売却収入は前期比減少となったものの、全体では前期比8．0%増の436億円となりました。
営業利益率は、前期の11．2%から12．2%へ改善しております。

・介護事業の売上高は、M&Aの効果などにより、前期比11．2%増の304億円となりました。
営業利益率は、新規買収会社に係る一時的な費用に加え、外形標準課税の適用範囲拡大の影響もあり、
前期の4．7%から1．7%へ低下しております。

・なお、新規買収会社については、グループイン後の収益改善を見込んでおります。
また、在宅介護サービスの強化をはじめとする各種施策を推進し、収益性の改善を図ってまいります。

・開設1年未満の新規施設を除いた既存施設の入居率は92．7%となり、
前年の91．2%から改善しています。

海外事業の概況

海外事業

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
売上高	136	150	13	10.1%
営業利益	▲4	▲3	0	—
営業利益率	—	—	—	—

海外拠点




機械警備事業


HOME ALSOK事業



常駐警備事業



警備輸送事業


FM事業等


介護事業


海外事業

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・8ページは、海外事業の概況についてです。

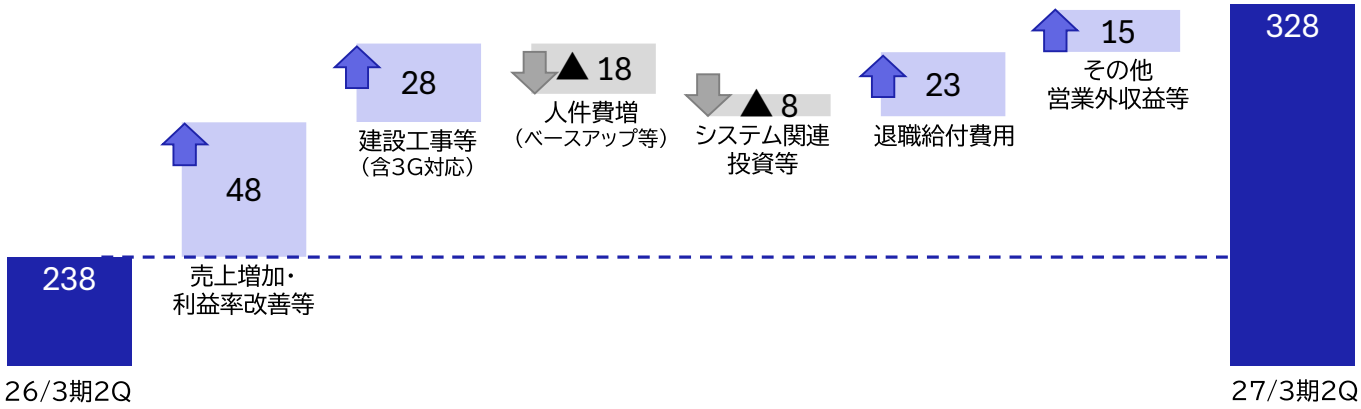
・海外事業の売上高は、既存事業の伸長を背景に、前期比10．1%増の150億円となりました。

・営業利益は、事業拡大に伴う本社を含めた人員増や、のれんの償却などにより、
赤字となっておりますが、上期は計画を達成するとともに、前年同期比で改善いたしました。
また、下期においても改善を見込んでおります。

経常利益の増減

経常利益増減要因

（単位：億円）



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・9ページは、2027年3月期中間期の経常利益の増減を2026年3月期中間期と比較したものです。

・当期は、「売上増加・利益率改善等」48億円、「建設工事等」28億円、「退職給付費用」23億円、
「その他営業外収益等」15億円などの増益要因があった一方、
「人件費増等」18億円、「システム関連投資等」8億円の減益要因があり、
前期比37．6%増の328億円となりました。

・当期の業績は全般的に順調に推移し、業績予想を上回る結果となりました。

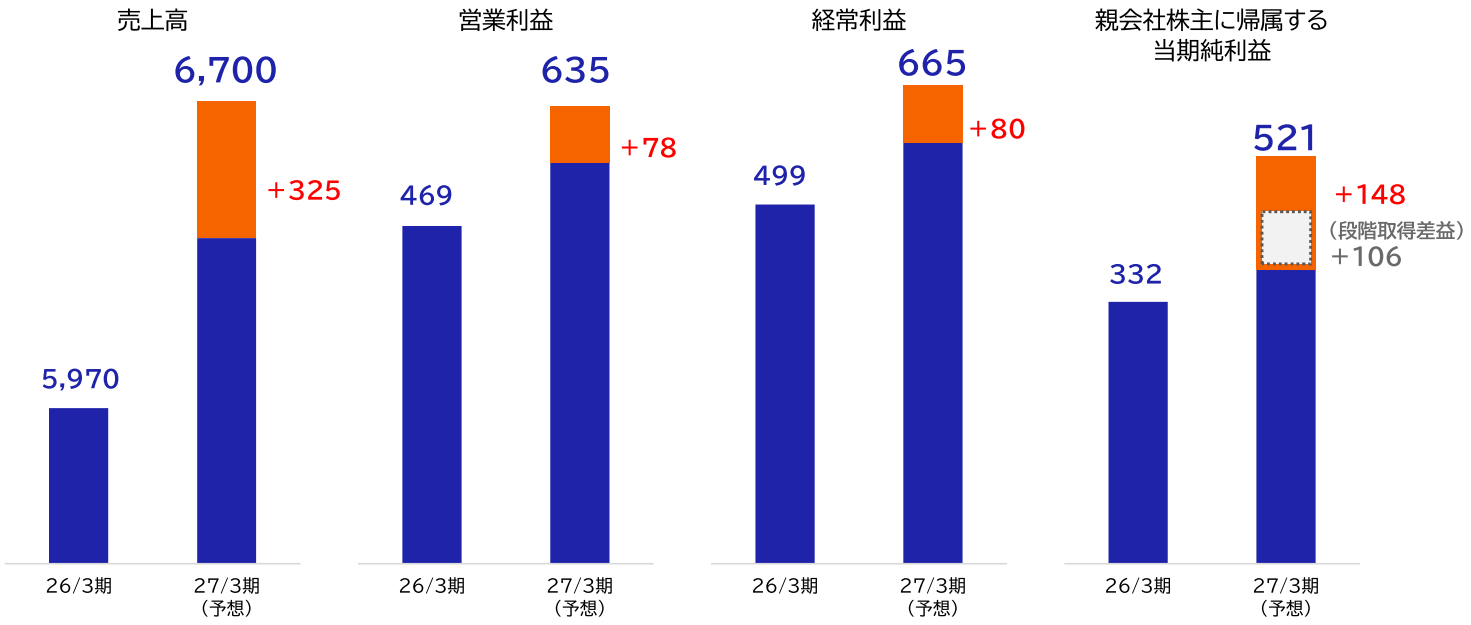
2027年3月期 業績予想

・続きまして、2027年3月期の業績予想についてご説明いたします 。

2027年3月期　業績予想

業績予想

（単位：億円）



※日本ドライケミカルの業績影響は、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想に反映しております。今後の状況変化等により、業績予想への影響を見直す可能性があります。

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・11ページは、2027年3月期の通期業績予想となります。

・2027年3月期中間期決算においては、セキュリティ事業やFM事業等が順調に推移し、
中間期の業績予想を上回る結果となりました。

・また、2027年1月から予定している日本ドライケミカルの連結化による影響に加え、
その段階取得差益の発生を織り込み、通期業績予想を上方修正いたしました。

・下期については、賞与支給額の増加を見込んでおりますが、
その影響を吸収しての増益を見込んでおります。

なお、日本ドライケミカルについては、のれん償却費の発生により、
利益面での貢献は限定的となる見込みです。

棒グラフの赤い表記が前回予想から修正した部分です。

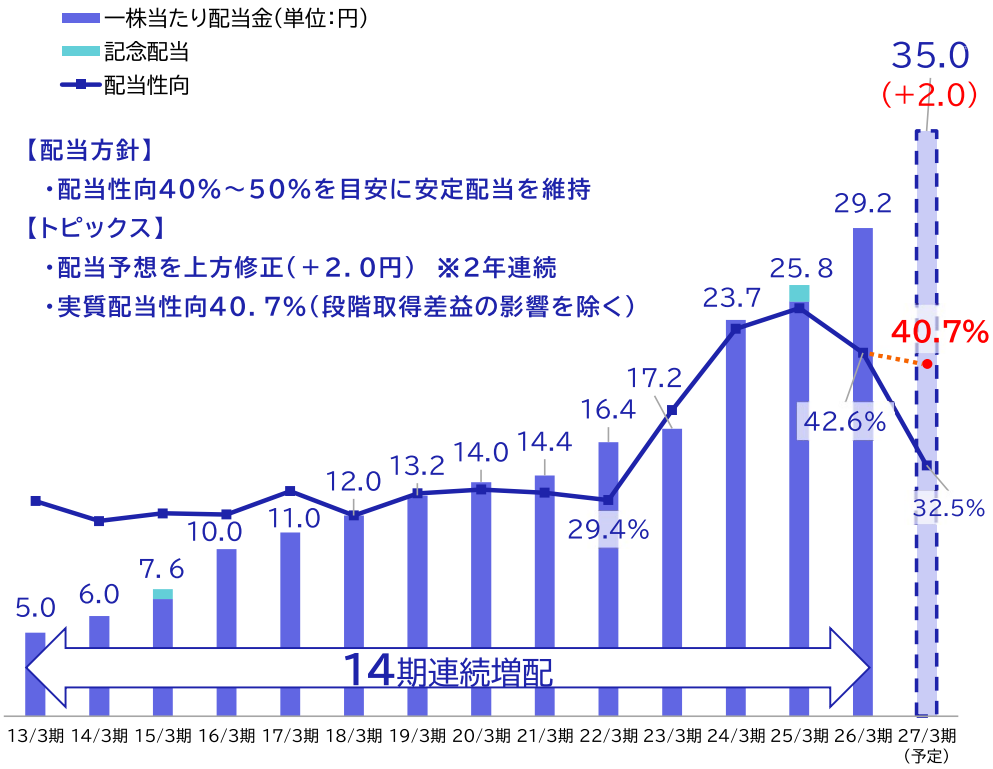
・これにより、売上高・利益ともに連続で過去最高を更新し、
経常利益率についても改善を見込んでいます。

株主還元

・続きまして、株主還元についてご説明いたします。

株主還元

一株当たり配当金の推移



株主還元の主な取り組み

2023年

7月	株式分割実施(1:5)
8～10月	自己株式取得(約50億円)

2024年

5月	配当性向目安を引き上げ 30% → 40%～50%
5～10月	自己株式取得(約150億円)

2025年

5月	創立60周年記念配当(＋1.0円)
11月	配当予想を上方修正(＋2.0円) 中間期＋1.0円、期末予想＋1.0円

2026年

8月	自己株式取得(約100億円)
11月	配当予想を上方修正(＋2.0円) 中間期＋1.0円、期末予想＋1.0円
	自己株式消却予定(20,824千株)

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・2027年3月期中間決算の実績が堅調に推移したこともあり、株主様からの負託にお応えするため、
中間配当を1円増配し、期末配当についても1円増配と予想します。
これにより、2027年3月期の年間配当は、一株当たり35円と予想しますが、
業績の変動により変更することがあります。

・段階取得差益の影響を除いた2027年3月期の実質配当性向は40．7%となります。

・また、自己株式約20，800千株を11月30日に消却する予定です。

ＡＬＳＯＫグループの取り組み

・続きまして、ALSOKグループの取り組みについてご説明いたします。

ALSOKグループの取り組み （1）

▌第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）

（アジア競技大会 ： 9月19日 ～ 10月4日 、 アジアパラ競技大会 ： 10月18日 ～ 10月24日）

・東京2020大会を上回る規模の警備業務等を受託し、グループ総合力を発揮

・グループ総力を結集した「Big ALSOK」体制により、大会の安全・安心の確保に貢献

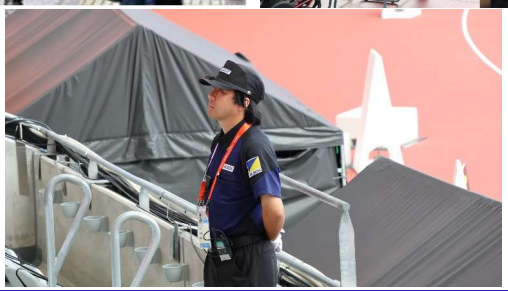
※グループ各社が連携し、人員・機能を結集した体制











Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・アジア競技大会およびアジアパラ競技大会では、東京2020大会を上回る規模の警備業務等を担当しました。

ALSOKグループが培ってきた警備ノウハウと全国ネットワークを活かし、

大会の安全・安心の確保に貢献しました。今回の経験で得られた知見やノウハウを活かし、

今後もさまざまな大規模案件において高品質な警備サービスを提供してまいります。

ALSOKグループの取り組み（2）

日本ドライケミカル（NDC）の企業価値向上に向けた取り組み

・NDCへのTOBが成立し、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを開始

・3社の強みを活かし、同社の価値向上に向けた重点施策およびアクションプランの策定を推進

・2027年1月1日より連結子会社化予定





Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・続いて、日本ドライケミカルに関する取り組みについてご説明します。

・日本ドライケミカルへのTOBは予定どおり成立し、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを開始しました。

現在はその第一歩として、重点施策の具体化を進めております。

今後は、3社それぞれの強みや経営資源を活かしながら、事業成長やシナジー創出に向けた施策を
具体化し、着実な成果創出につなげてまいります。

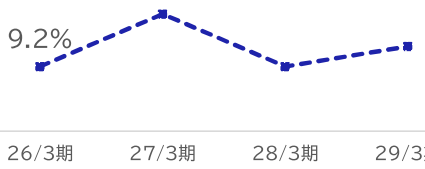
なお、日本ドライケミカルにつきましては、2027年1月1日より当社の連結子会社となる予定です。

ALSOKグループの取り組み（3）

中期経営計画（ALSOK STAGE 2028） 財務目標の見直し

	2026/3 実績	2029/3 目標	2029/3 改定目標
連結売上高	5,970億円	6,800億円～7,500億円	7,200億円～7,600億円
連結営業利益	469億円	650億円～720億円	690億円～730億円
連結経常利益	499億円	680億円～750億円	720億円～760億円
連結経常利益率	8.4%	10%程度	10%程度
ROE	9.2%	10%程度	10%程度
配当政策	配当性向40%から50%を目安に安定配当を目指す	配当性向40%から50%を目安に安定配当を目指す	配当性向40%から50%を目安に安定配当を目指す

ROE推移（イメージ）



※上記はROE推移イメージであり、将来の業績やROE水準を予測または保証するものではありません。

ROE向上に向けた取り組み

利益成長
- ◆成長市場開拓による事業拡大
- ◆多様なリスクに対応するサービス領域拡充
- ◆DX・AIを活用したBPR推進
- ◆事業採算性の向上

資本効率向上
- ◆経営資源の最適配分
  - ・人的資本投資
  - ・成長投資
  - ・株主還元
- ◆投資効果の最大化
  - ・PMI推進
  - ・シナジー創出

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

・5月に公表した中期経営計画につきましては、日本ドライケミカルの連結化や中計初年度における業績の上振れなど、足元の業績動向等を踏まえ、財務目標を修正いたします。

日本ドライケミカルの連結化による業績への影響を見込む一方で、のれん等の影響も織り込んだうえで、今回の財務目標を設定しております。

・なお、経常利益率およびROE目標につきましては、変更ありません。

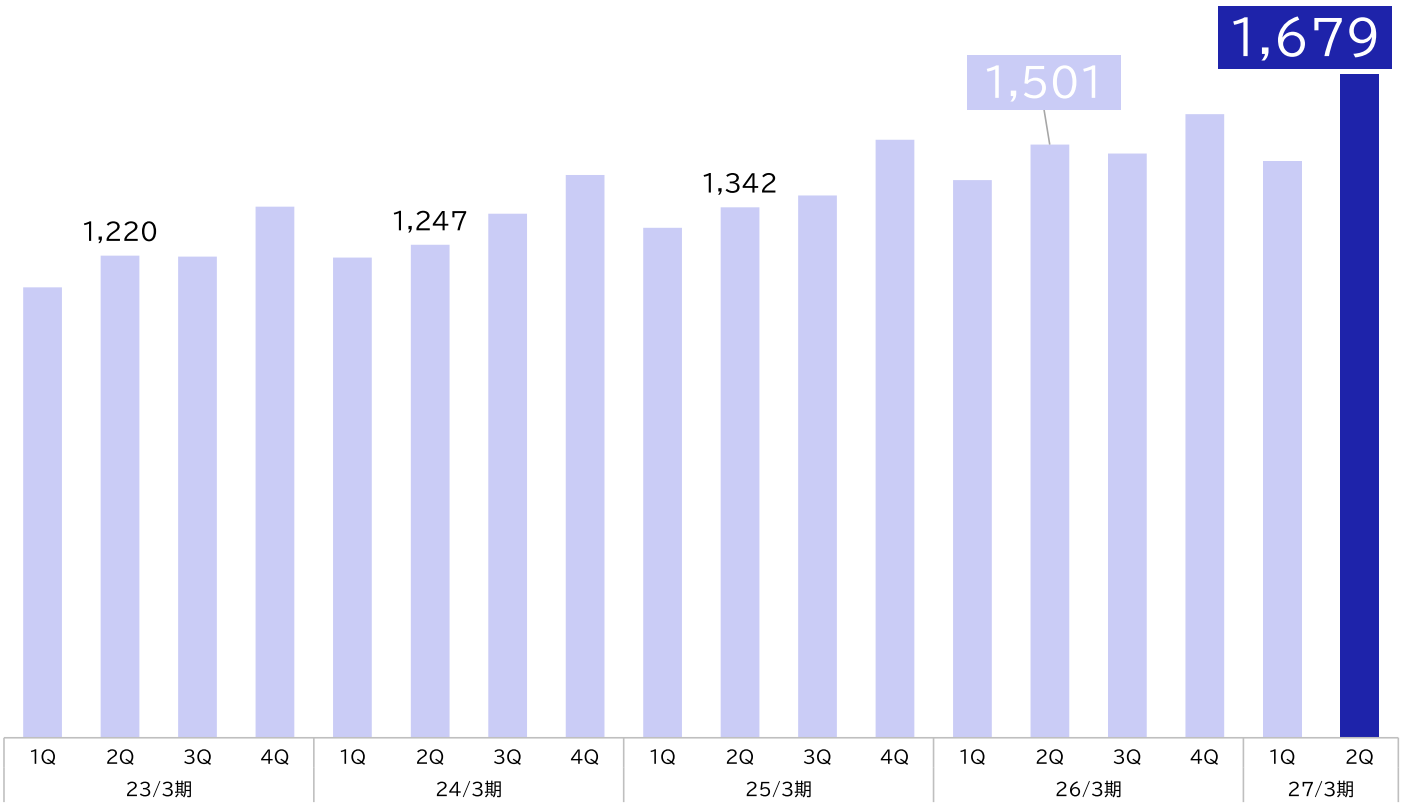
・ROEにつきましては、2027年3月期は段階取得差益の影響もあり、10%を上回る水準を見込んでおります。
翌期はその反動もあり低下する見込みではありますが、継続的に10%程度のROEを確保することを目指して参ります。

・キャッシュアロケーションにつきましては、もともと、資金配分の考え方や方向性をお示ししたものであり、今回は数値の見直しを行っておりませんが、基本的な考え方に変更はありません。

Appendix

連結売上高の推移（四半期毎）

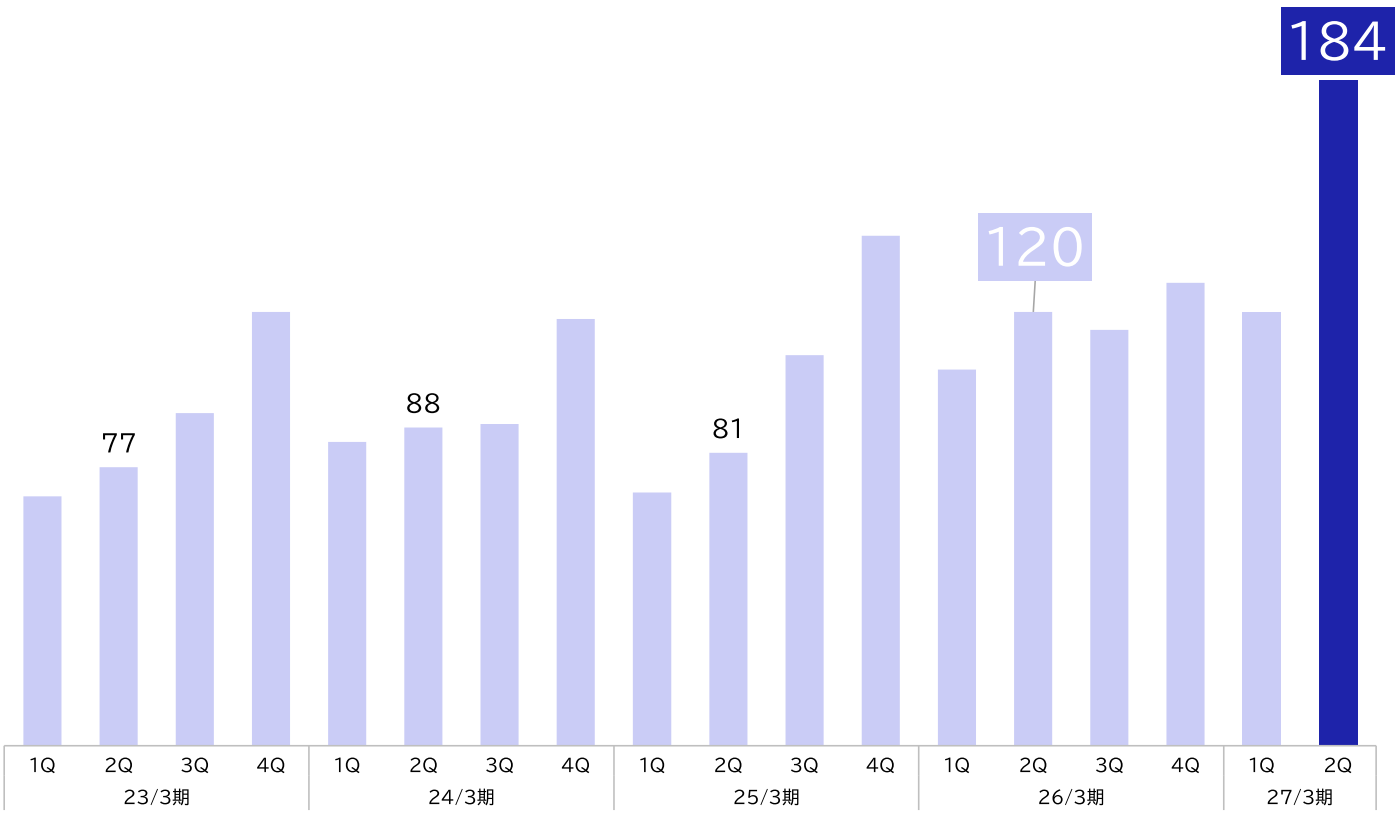
（単位：億円）



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

連結営業利益の推移（四半期毎）

（単位：億円）



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

連結損益計算書

実績

（単位：億円）

	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
売上高	2,913	3,138	225	7.7%
売上原価	2,215	2,335	121	5.4%
労務費	1,070	1,148	78	7.3%
外注費	363	395	33	9.0%
減価償却費	83	94	11	13.3%
その他原価	376	409	32	8.6%
工事・売却原価	321	288	▲33	▲10.4%
販売管理費	472	497	25	5.3%
広告宣伝費	13	19	6	45.6%
人件費	286	293	7	2.3%
減価償却費	19	15	▲4	▲20.5%
その他販管費	152	168	16	10.5%
営業利益	225	304	79	35.2%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

連結貸借対照表

実績

（単位：億円）

	26/3期 期末	27/3期 中間期末	前期末比		26/3期 期末	27/3期 中間期末	前期末比
流動資産	2,978	2,776	▲202	流動負債	1,395	1,505	110
現金及び預金	777	766	▲11	支払手形及び買掛金	289	251	▲38
警備輸送業務用現金	883	684	▲199	短期借入金	405	460	55
受取手形、売掛金及び契約資産	731	777	45	その他	699	793	93
その他	585	548	▲37				
固定資産	3,771	4,183	412	固定負債	1,085	1,101	15
有形固定資産	1,459	1,568	108	長期借入金	124	108	▲15
無形固定資産	367	359	▲7	退職給付に係る負債	358	368	10
投資その他の資産	1,944	2,254	310	その他	603	623	19
				負債合計	2,480	2,606	125
				株主資本	3,308	3,337	28
				その他の包括利益累計額	527	541	13
				非支配株主持分	433	475	42
				純資産合計	4,269	4,353	84
資産合計	6,750	6,959	209	負債純資産合計	6,750	6,959	209

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

連結キャッシュフロー計算書

実績

（単位：億円）

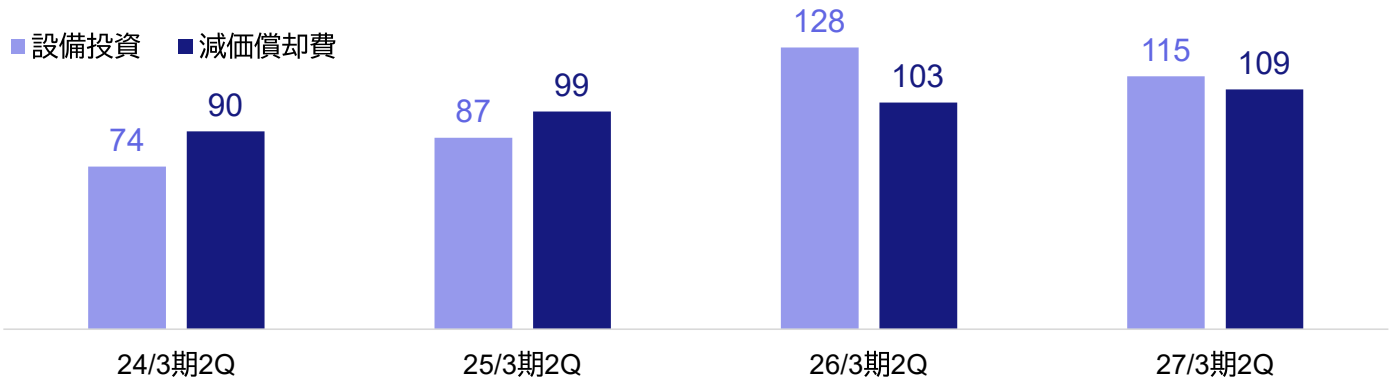
	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
営業CF	216	297	81	37.6%
投資CF	▲114	▲405	▲291	―
財務CF	▲97	66	164	―
現金および現金同等物の中間期末残高	603	626	23	3.9%
フリーCF	102	▲107	▲210	―

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

設備投資・減価償却費

設備投資・減価償却費の推移

（単位：億円）



前年同期比

（単位：億円）

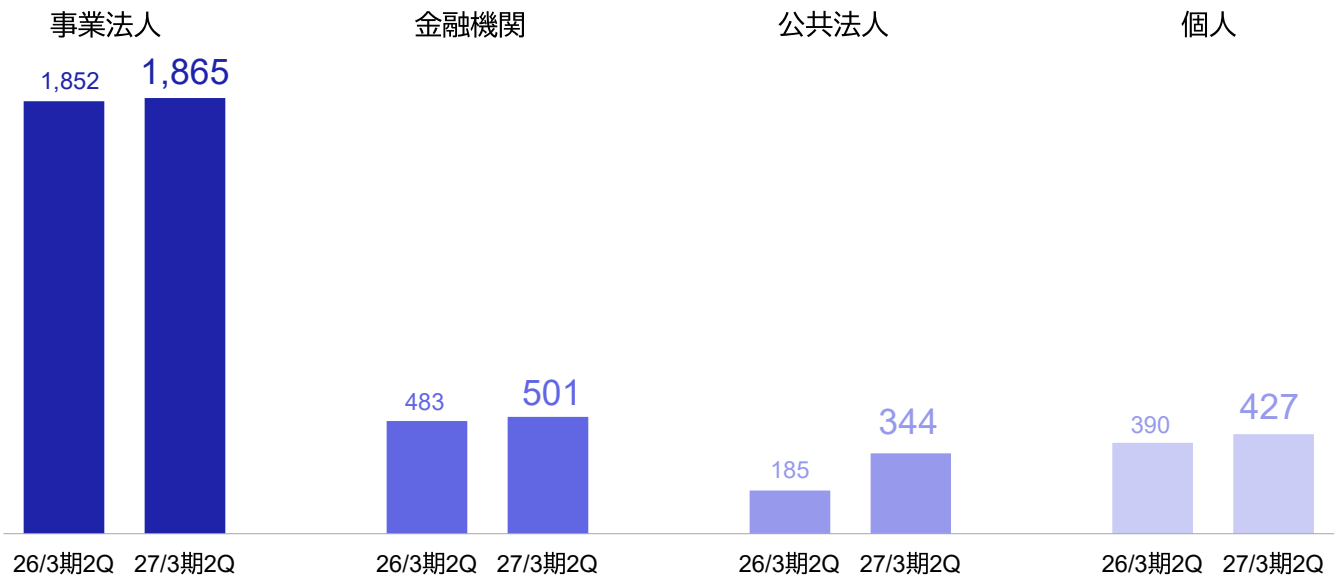
	26/3期 中間期実績	27/3期 中間期実績	前年同期比	増減率
設備投資	128	115	▲13	▲10.4%
減価償却費	103	109	6	6.8%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

顧客セグメント別　売上高の状況

売上高

（単位：億円）



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

基本情報

会社概要

会社名	ALSOK株式会社(証券コード2331)
本社所在地	東京都港区元赤坂1-6-6
設立	1965年7月16日
資本金	18,675百万円
関連会社数	連結子会社　89社 持分法適用会社　12社
社員数	連結　69,619人　　単体　12,013人
主な業務内容	機械警備・HOME ALSOK・常駐警備・警備輸送・FM等・介護・海外

機械警備 契約件数

1,156千件
内訳:法人611千件
個人545千件



常駐警備 長期契約件数

4,610件



入(出)金機 稼働台数

33,247台



AED 累計販売台数

累計315,430台



「ALSOK あんしん教室」 実施回数

累計64,445回



※2026年9月30日現在

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

経営理念とブランドステートメント

経営理念

**我々は、「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって事業を推進し、
お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす。**

ブランドステートメント

ALSOKは創業以来、何事にも常に感謝を忘れない「ありがとうの心」と、どんな困難な状況でも自らを律し、相手への思いやりを欠かさない、強く、正しく、温かい「武士の精神」をもって、お客様と社会の安全・安心の確保に真摯に向き合ってきました。

そして、時代の流れや社会の変化により多様化するリスクやニーズに対して、ALSOKが果たすべき役割を追求してきました。

「ALwayS OK」という言葉には、私たちが進むべき「way(道)」があります。
「ALSOKがいれば、いつもOK、すべてがOK」と言っていただける存在になることを目指し、「自ら、必ずやり遂げる」という強い覚悟をもって、進化への挑戦を続けます。

ALwayS OK

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

沿革

会社設立から現在まで

業務関係

1965
設立



（吉田茂元首相と創業者夫妻）

1966
ビルメンテナンス業務開始

1967
機械警備業務開始

1971
警備輸送業務開始

1975
ATM管理システム稼動

1983
東京都公安委員会による警備業認定第一号を取得

レンタル方式のホームセキュリティ開始

1997
入金機オンラインシステム販売開始



2002
東京証券取引所市場第一部へ上場



2003
コーポレートブランドを「SOK」から「ALSOK」に変更

2007
海外進出（ALSOKタイ）

2012
東京スカイツリー警備開始

介護事業に参入

2015
東京夏季五輪

オフィシャルパートナー契約締結



2024
レスキューサービス全国展開開始



2025
リブランディング
商号変更

● 1965年～ ● 1970年～ ● 1980年～ ● 1990年～ ● 2000年～ ● 2010年～ ● 2020年～

イベント関係

1965
ビートルズ武道館公演警備



1970
大阪万博警備



1972
札幌冬季五輪警備

1979
先進国首脳会議警備
（第5回、東京サミット）

1981
神戸ポートピア’81博覧会

1985
科学万博「つくば’85」警備

1986
先進国首脳会議警備
（第12回、東京サミット）

1990
「国際花と緑の博覧会」警備

1995
阪神・淡路大震災
大規模支援



2002
FIFAワールドカップ警備

2008
洞爺湖サミット警備



2011
東日本大震災
大規模支援



2016
伊勢志摩サミット警備

2019
ラグビーワールドカップ警備

2021
東京夏季五輪警備

2023
広島サミット警備

2025
大阪・関西万博警備

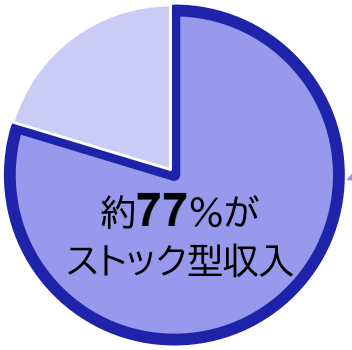
東京2025世界陸上警備

2026
愛知・名古屋アジア競技大会警備

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

収益構造と強み

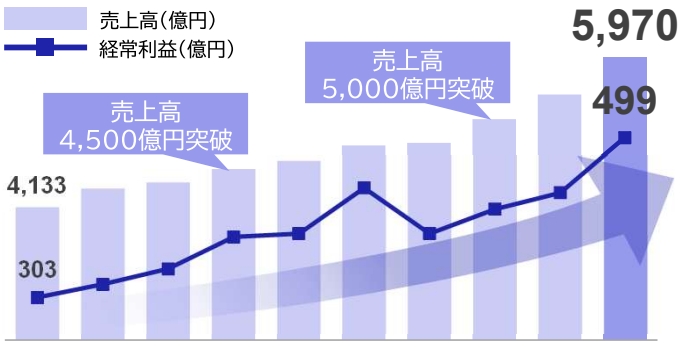
持続的かつ安定的な収益構造



契約継続率
約95%

機械警備事業/HOME ALSOK事業の2026年3月期実績

安定成長を継続



17/3期 18/3期 19/3期 20/3期 21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期 26/3期

成長を支える3つの強み

ブランド	組織力	お客様からの信頼
「安全・安心」を象徴する ALSOKブランド	24時間365日・全国対応の 駆けつけ体制	ストック契約140万件超 分散された顧客セグメント構成

持続的成長を通じた企業価値向上を実現

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

資料についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

ALSOK株式会社
コーポレートコミュニケーション部　IR室
TEL　03-3423-2331
E-mail　alsok-ir@alsok.co.jp

Copyright © ALSOK. All rights reserved.